

落谷虹児の 抒情画ファンタジー

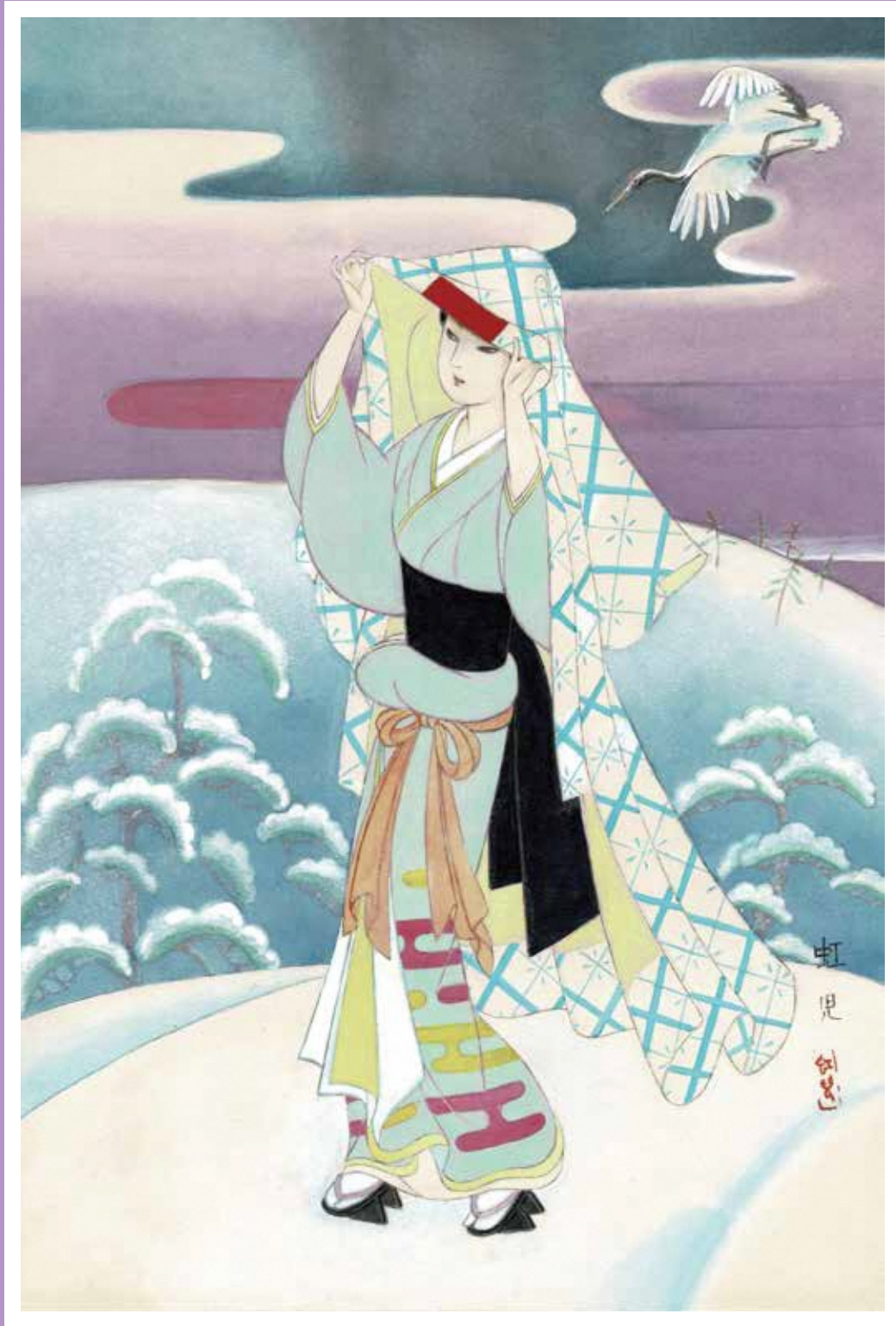
2025年

2月4日〔火〕
4月13日〔日〕

〔主 催〕 新発田市、新発田市教育委員会、落谷虹児記念館

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料（受付で手帳をご提示ください。）

〔開館時間〕 午前9時～午後5時（入館券の販売は午後4時30分までとなります。）
〔休館日〕 月曜日（但し、祝日の場合は開館し、翌火曜日を振替休館といたします。）
〔入館料〕 一般・大学生550円（有料入館者20名様以上は団体料金440円）、
高校生230円、小・中学生120円



52年振りに発見された原画初公開！

KOJI FUKIYA MEMORIAL MUSEUM OF ART

落谷虹児記念館

〒957-0053 新潟県新発田市中央町4丁目11-7 電話&FAX 0254-23-1013

落谷虹児の抒情画ファンタジー

初公開 個展出品作品『夕鶴』(1972年)



「胡蝶の夢」1968年

落谷虹児は、少女雑誌を中心に多くの抒情画を描きましたが、人気挿絵画家として活躍しながらも、「好きな絵を描いて暮らしたい」という夢を抱き続けていました。虹児が70歳を迎える1968年の個展を機に、悲願だった絵画作品を集中的に制作し始めるようになり、1973年の個展まで新作を発表し続けました。永年の挿絵画家生活で培った修練や、鮮やかで瑞々しい色彩感覚が際立つ虹児の抒情画は、今なお色褪せることなく、多くの人々に愛され続けています。



「ガラスの靴」1968年

本展では、虹児が少女雑誌に描いた抒情画や、独自の絵画世界の集大成といえる晩年の個展出品作品などをご紹介しますと共に、52年振りに発見された『夕鶴』の原画を初公開いたします。

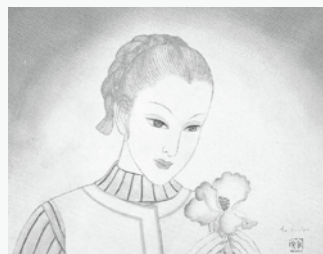


「穂かがり」1973年

大正期から抒情の世界を追求し続けた虹児の、繊細で優美な抒情画の数々をご堪能いただければ幸いです。



「薔薇と少女」1968年



「青い芥子」制作年不詳



「紫の手袋」1973年



落谷虹児記念館

〒957-0053

新潟県新潟市中央町4-11-7

電話・FAX 0254-23-1013

